

中国 学会訪問記

2015/11/2~11/7

修士1年
鈴木 研人



訪問地 中国<成都>



Schedule

11月2日

- ・日本出発
- ・中国(成都市)到着

3日

- ・成都ジャイアントパンダ繁殖研究基地 訪問
- ・成都武侯祠 訪問
- ・青羊宮 訪問

4日

- ・ASICON2015(学会) 1日目

5日

- ・ASICON2015(学会) 2日目

6日

- ・ASICON2015(学会) 3日目

7日

- ・中国(成都市)出発
- ・日本帰国



飛行機内からの風景

やっぱり地球は青かった！！



中国の料理

料理は旨辛いものばかり！！



生演奏するBAR



二軒目のBAR

観光 <成都ジャイアントパンダ繁殖研究基地>

上野動物園にいるパンダは大人のみで、パンダの子供は中国でしか見るできません。

また、この研究基地にはレッサーパンダも飼育されており、立っている姿は見れませんでした。餌を食べている姿はとても愛らしいです。

発表を控えて緊張していた私は、可愛い子供パンダを見てとても癒されました。



飼育されている子供パンダ



餌を食べるレッサーパンダ

パンダとのスリーショット



研究室のレッサーパンダ
(癒し系男子)

観光 <成都武侯祠&青羊宮>

成都武侯祠は三国志で有名な諸葛孔明、劉備を祀る場所です。また、成都是別名「蜀」と呼ばれています。

三国志好きにはたまらない観光地で、これらの写真を三国志好きの友人に送ったところ即座に返信が返ってきたのを覚えています。

青羊宮は成都最大の道教寺院で、このお寺の起源はおよそ2400年前とされ、日本と少し似ている歴史ある建物という印象でした。

敷地はかなり広かったため、次の日は足が筋肉痛になりました。



三國聖地にて



2400年の歴史に喜ぶ観光客

諸葛孔明



青羊宮の入り口

Conference <国際学会>

現地時間で5日の14:30から Brunei Meeting Roomにてオーラルでの発表をしました。

質疑応答では、質問者の英語を聞き取ることができず、小林先生に助け舟をだして頂きました。

自身の英語力の無さを痛感し、英語で会話ができるようにと切実に思うと同時に、英語の必要性を再確認する良い機会となりました。



口頭発表中の様子 (鈴木)

Kento Suzuki, Nobukazu Takai, Masato Kato, Hiroaki Seki, Yoshiki Sugawara, Haruo Kobayashi, "Comparator Circuits Automation by Combination of Distributed Genetic Algorithm and HSPICE Optimization" The 11th IEEE International Conference on ASIC, Wangjiang Hotel, Chengdu City, China (Nov. 4-6, 2015)

Impression <感想>

まず、中国に着いた印象としては高層マンションが多いことです。やはり人口が多いためか到る所に建設していました。また、交通面としてはタクシーの料金が日本と比べてかなり良心的な値段でしたが、道路の信号がほぼ機能を成しておらず、赤信号でも多くの車は走りつづける文化にとっても驚きました。食生活に関しては辛い肉料理が多く、汗をかきながら食事を取りました。

学会では発表終了後に中国の大学の学生と色々と英語で質問されましたが、なかなか聞き取ることや伝えることが難しく、相手に明確に伝える英語を研鑽しなければと感じました。このようなプレゼンの機会は今後企業で働く上でもあると思いますので、今回の学会で学んだ経験を活かしたいと思います。

今回の中国の滞在期間は計6日間でしたが、中国という日本とは異なる文化を体験し、発表を通して議論や交流を深め、非常に有意義で貴重な経験を得ることができました。

このような貴重な機会を与えてくださった小林先生をはじめとする諸先生方に心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



Banquet Dinner での集合写真

Candid shot <オフショット>



鴨の足を食べる



海に憧れる三人



中国のBARにて



これが中国のピースらしい



2人の勇者によりChina ladyと一緒に写真を撮ることが実現した！